

導入事例

vol.009

導入製品:画面プロテクト for SharePoint

お客様事例:東京中小企業投資育成株式会社

「マイクロソフト社 SharePoint」で重要なセキュリティ対策を担う 「画面プロテクト for SharePoint」

東京中小企業投資育成株式会社(以下、SBIC 社)は、「中小企業の自己資本の充実を促進し、その健全な成長発展を図る」ことを基本理念として、1963年に設立され、これまでに、2,000社近くの企業に投資をおこなっている。

同社では、その業務の性格から、お客様の極めて機密性の高い情報を扱っている。このため、約3年前に、コンピュータやネットワークといった情報系だけでなく、入退出管理、書庫管理、コピー機管理、プリンタ管理など、全社レベルでのセキュリティの確保について検討を開始した。

検討の結果、情報系のポータルとしてマイクロソフト社のSharePointを採用し、そのセキュリティ強化を目的として、ハイパーギアのDRM暗号化製品が重要な役割を果たしているという事で、総務企画部 総務課の庄川様にお話をうかがった。



東京中小企業投資育成株式会社

User Profile

社名 : 東京中小企業投資育成株式会社
 場所 : 東京都渋谷区渋谷3-29-22
 設立 : 昭和38年11月15日(1963年)
 社員数 : 76名

■SBICが考える、セキュリティ機能

SBICは、投資を専門に行う企業であり、その性格上お客様の極めて重要な企業情報を扱っている。お客様の社会的地位や家族構成などの定性情報や評価結果など、極めて機密性の高い情報の漏えいは、長年の信頼を失うばかりでなく、会社の存続危機であると考え、約3年前から、全社レベルでのセキュリティの検討を開始した。

情報系では、閲覧権限、メールアーカイブ、PCセキュリティ、ネットワークセキュリティなどを重要テーマとしてあげ、その中で1番重要と考えたのは、情報の権限設定だった。「お客様の情報を、グループで共有するというのではなく、ラインという考え方で検討しました。つまり、たとえ同じ部署、同じ地域の担当でも、お客様情報は担当者とその上司しか閲覧できない情報閲覧権限をつくることを必須としました。」

(庄川氏)

■SharePointを採用

「当社は、情報システム部門を持たず、システムはその都度、最適な提案を行うSI会社に委託して構築しています。今回の情報系プロジェクトは、2年前に各社コンペにてマイクロソフト社のSharePointを提案した、株式会社CSKに委託しておりました。

SharePointを選択した理由は、情報の閲覧権限を重視して考えた場合、PCのログインセキュリティなどと密接に連携でき、かつOSとの親和性が高いマイクロソフト製品が一番良い。社内ポータルやスケジュール管理、ドキュメント管理が可能なSharePointを選択した、」

(庄川氏)

■新たな悩み プリントスクリーン

SharePointを採用したことで、SBICが考えている、権限をラインで制御することが可能となったが、新たな問題が発生した。

SharePointには、担当営業と上司しか閲覧できないお客様の個人情報や企業情報が表示されているが、このお客様情報をブラウザの印刷機能で印刷され流出する可能性がある。あるいは、プリントクリーンで画面キャプチャされたら、情報漏えいの可能性がある。また、テキストをコピーされ持ち出される危険性もある。権限設定により閲覧を制限しても、情報漏えいができてしまうシステムは問題がある。(庄川氏)

■ハイパーギア 画面プロテクトを採用

「本問題点について、株式会社CSKと検討をかさね、Web等で検索しながら議論を行い、最終的にハイパーギアの画面プロテクト for SharePointを採用することにしました。」(庄川氏)

ハイパーギアの製品を採用した最大の理由は、SharePointだけでなく、

株式会社CSKにて開発したWebシステムも同じようにプリントスクリーン防止、テキスト抽出禁止ができることだった。SBICでは、これまでも、セキュリティ製品を各種採用し運用してきた。

他ソフトウェアとの親和性が悪い、PC端末ごとに挙動が違って来る、などの問題が発生すると、社員が使用しなくなることもあった。

システムの親和性、システムの構築のしやすさ、システムの運用の容易さなども合わせて検討し、CSKによる評価結果などをもとに、ハイパーギア製品を導入することが決定された。

■導入してみても良かったか

SBICでは、セキュリティ製品はこれまで各種導入してきたが、一番の問題点は、社員の反発である。今までできていたことが出来なくなったり、使用方法が変わることで、作業効率が一時的に低下するからだ。この社員反発を回避することが一番の課題だ。

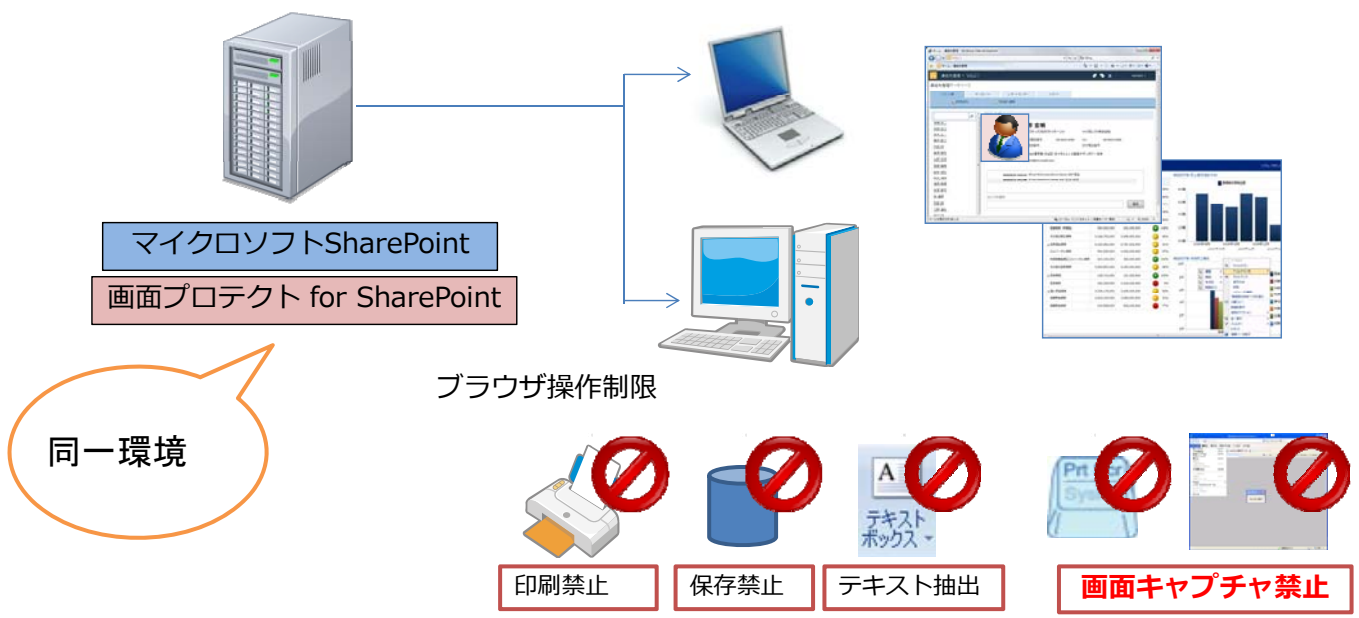
同社では、まず導入スケジュールを決定し、徹底してスケジュール通りに導入作業をすすめた。段階的に強化するのではなく一括でいっぺんにシステムを立ち上げた。この手法をとらないと社員の反発は何時までも続いてしまい、次第に使われなくなってしまう。

今回、SharePoint 立ち上げと同時にセキュリティ機能も稼働することを目標としたので、非常に短い期間に、検討、評価、構築を行う必要があった。ハイパーギアの「画面プロテクト for SharePoint」は、構築も短期間で可能であり、手離れもよかった。また、問題点発生時の対応も速やかだったことも評価された。

「評価中に、PCのハードディスクを書き込み不可とするセキュリティソフトウェアとの問題点が発生したが、非常に短時間で対応いただき、その対応力も決定要因です。セキュリティ製品は、問題がでることが当たり前なので、いかにすみやかに対応できるかも非常に重要な要素と考えていました。」(庄川氏)

＜総務企画部 総務課の庄川様＞

本システムは、SBICのポータルサイトであり、社員が日々使用する重要なシステムとなっている。また、セキュリティは非常に重要な要素であり、お客様の情報が漏えいすることは絶対に起こしてはいけないシステムだった。ハイパーギア「画面プロテクト for SharePoint」は、情報漏えいの最後の砦です。閲覧できる権限の人が意識せずに起こしてしまう情報漏えいを防止する必須アイテムとして、重要なソフトウェアと評価されている。



ハイパーギア連絡先

〒330-0851
埼玉県さいたま市大宮区櫛引町 1-72-2 HANA ビル 1, 2 階
TEL : 048-654-2141 FAX : 048-654-2142
URL : <http://www.hypergear.com>
E-mail : info@hypergear.com

